

教育総務部  
教育政策課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	教育委員会運営事業  教育行政の中立性・安定性を確保し、効率かつ総合的な教育行政を推進するため、教育委員会の運営を行う。	定例会	回	12	12	12
		臨時会	回	3	3	2
		協議会	回	5	8	7
2	教育文化月間表彰式実施事業  教育、文化の向上を図るため、教育功労者等を教育文化月間で表彰する。	被表彰者数	人	133	77	102
3	小学校維持管理運営事業  各小学校の管理・清掃業務、夜間等機械警備業務、受付案内業務、廃棄物の収集・運搬・処理業務等、学校の施設維持管理等に必要な業務を委託し実施するほか、教材等の購入依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行うことで、学校運営を円滑に行う。	管理・清掃業務委託校数	校	32	32	32
		夜間等機械警備業務委託校数	校	32	32	32
		受付案内業務委託校数	校	32	32	32
4	小学校教育振興事業  小学校の理科教育の向上・充実を図るため、国からの小学校理科教育振興費補助金により教材を購入する。	理科教材の購入	千円	1,081	970	1,047
5	小学校支援学級運営事業  小学校の支援学級運営を円滑に行うため、各小学校からの教材等の購入申請依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行う。	支援用教材の購入	千円	8,391	9,977	8,326

教育総務部  
教育政策課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	中学校維持管理運営事業  各中学校の管理・清掃業務、夜間等機械警備業務、廃棄物の収集・運搬・処理業務等、学校の施設維持管理等に必要な業務を委託し実施するほか、教材等の購入依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行うことで、学校運営を円滑に行う。	管理・清掃業務委託校数	校	14	14	14
		夜間等機械警備業務委託校数	校	14	14	14
7	中学校教育振興事業  中学校の理科教育の向上・充実を図るため、国からの中学校理科教育振興費補助金により教材を購入する。	理科教材の購入	千円	738	635	677
8	中学校支援学級運営事業  中学校の支援学級運営を円滑に行うため、各中学校からの教材等の購入申請依頼を集計し、業者に発注、検品事務を行う。	支援用教材の購入	千円	3,535	4,343	4,165
9	小学校感染症対策等支援事業  各小学校において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、トイレ清掃を行うほか、個々の学校環境をふまえた感染症予防対策や学習保障に活用できる交付金を配分することで、コロナ禍における学校教育活動を支援する。	トイレ清掃業務委託校数	校	-	32	32
		感染症対策等支援事業交付金交付校数	校	-	32	32
10	中学校感染症対策等支援事業  各中学校において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、トイレ清掃を行うほか、個々の学校環境をふまえた感染症予防対策や学習保障に活用できる交付金を配分することで、コロナ禍における学校教育活動を支援する。	トイレ清掃業務委託校数	校	-	14	14
		感染症対策等支援事業交付金交付校数	校	-	14	14

教育総務部  
学務課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	就学・修学に伴う支援事業  経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒に対する就学援助費等の支給や山間部からのバス通学児童生徒に対する通学費の補助を行うなど、各種費用を支給することにより、教育の円滑な実施に資することを目的とする。	就学援助費支給金額	千円	224,594	112,101	151,581
		支援学級等就学奨励費支給金額	千円	19,101	8,962	14,992
		緊急援護費支給金額	千円	36	0	0
		山地部児童・生徒通学費補助金額	千円	571	529	450
		茨木市奨学金支給金額	千円	18,164	16,940	22,220
		・就学援助制度の小学校入学準備金（令和4年4月入学児童対象）の支給額を増額した。 ・奨学金（高校等入学支度金）制度において、保護者の教育費負担、国・府の奨学制度等を勘案し、第2子以降の生徒に対する支給額を増額した。				
2	学校給食事業（ソフト）  安全で安心な学校給食の充実や学校における食育の推進を図るため、各種学校給食事業を推進するとともに、アレルギー対応マニュアルに沿った運用などアレルギー対応を含めた給食内容の向上・充実に関する調査研究、調理員研修等を行う。	小学校給食費徴収率	%	99.5	100	99.8
		中学校給食喫食率	%	5	4.3	4.8
		小学校給食費（児童分2学期～3学期）を無償化した。				
3	学校保健事業  学校において、児童生徒等の健康の保持増進を図ること、学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うことなど学校保健の推進を充実するために様々な施策を行う。	就学援助医療券支払件数	件	117	146	105
		負傷児童等搬送利用回数	回	823	740	821
		日本スポーツ振興センター災害給付請求件数	件	3,832	3,244	3,251
		新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、適切な時期に臨時休業を判断するとともに、学校保健衛生用品を追加購入した。また教員の負担削減のため、委託により学校施設消毒業務を実施した。				
4	就学事務事業  学校教育法に基づき、学齢児童生徒の就学を保障するため、学籍作成や転入学などの事務を適正かつ円滑に行う。	児童生徒数	人	23,969	23,810	23,756
5	中学校給食センター整備・運営事業  中学生の健全な心身の成長とさらなる食育の推進のため、令和2年度に策定した「茨木市中学校給食基本計画」に基づき、全員給食による中学校給食を実現するため、PFI（BT0）手法により中学校給食センターの整備・運営を行う。	給食センター整備運営事業者選定委員会の開催	回	-	-	2
		中学校給食検討会の開催	回	-	-	3
		実施方針、要求水準書（案）の作成及び公表、特定事業の選定、用地取得、中学校給食推進チーム（CFT）の組成を行った。				

教育総務部  
施設課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	小学校営繕事業  小学校施設の整備により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	大規模改修工事	校	1	1	1
		便所改修工事	校	2	3	5
		エレベーター設置工事	校	1	2	2
		外周塀改修工事	校	3	4	1
2	中学校営繕事業  中学校施設の整備により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	大規模改修工事	校	1	-	1
		便所改修工事	校	1	-	3
		エレベーター設置工事	校	1	0	1
		外周塀改修工事	校	2	2	1
3	小学校維持補修事業  小学校施設の維持補修により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	プール改修	校	-	-	-
令和4年度に向けて準備を行った。						
4	中学校維持補修事業  中学校施設の維持補修により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。	プール改修	校	-	-	-
令和4年度に向けて準備を行った。						
5	小学校施設管理事業  快適な教育環境の維持・増進を図るため、小学校における施設・設備の点検や修繕等を実施するとともに、水道・電気・ガス・通信等学校運営に必要な経費を適正に管理・執行する。	光熱水費	千円	301,596	267,839	296,415
		修繕件数	件	1,278	1,212	1,171

教育総務部  
施設課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	中学校施設管理事業  快適な教育環境の維持・増進を図るため、中学校における施設・設備の点検や修繕等を実施するとともに、水道・電気・ガス・通信等学校運営に必要な経費を適正に管理・執行する。	光熱水費	千円	97,825	100,123	100,816
		修繕件数	件	526	564	561

教育総務部  
社会教育振興課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	家庭教育支援事業  家庭教育を支援するために学校と連携しながら、保護者同士が交流し学びあう家庭教育学級の開設や、家庭教育に関する学習の機会の提供等を行う。	講習講座開設数	回	230	91	112
		講習講座の参加者数	人	3,631	1,054	1,208
2	社会教育事業  知識の習得とともに自らの学習と実践を通じて自主的活動の充実と地域の連帯意識を高めることを目的に、各種講習会などを開催する。	講座等の開設数	回	114	167	156
		参加者数	人	1,180	993	1,007
		成人祭参加者数	人	2,112	1,623	1,710
		成人祭参加率	%	69.7	51.9	57.8
3	社会教育関係団体育成事業  社会教育関係団体の活動を促進し、社会教育の振興を図る。 社会教育関係団体等を対象としたリーダー研修、後援等により支援する。	後援件数	件	83	35	38
		リーダー研修会参加者数	人	29	-	-
4	小学校区公民館講座等実施事業  各公民館において、社会教育の場として、地域住民のニーズに対応した文化、スポーツなどの講座等を開催し、住民の主体的な学習活動を支援する。 現代的課題、地域課題について、地域の状況に合わせた取り組みを進める。	講座等開設数	講座	400	227	268
		講座等受講者数	人	10,921	3,323	3,942
		玉櫛公民館SL見学会	回	5	5	6
		玉櫛公民館SL見学会参加者数	人	585	667	576
5	公民館区事業補助事業  地域住民の主体的な学習活動や地域活動を促進し、もって地域住民の生活文化の振興を図るため、補助金を交付する。	ふるさとまつり開催数（館数）	館	17	0	0
		地域レクリエーション開催数（館数）	館	22	7	9
		文化展開催数（館数）	館	19	1	1
		館報発行館数	館	23	20	21

教育総務部  
社会教育振興課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	中央公民館講座実施事業  社会教育の観点から、市民の学習機会の充実を図るため、生涯学習センターを活用した少人数での学習体制による日本語読み書き学級や市民ニーズに対応する講座を開催するほか、現代的な課題、地域課題に応じた事業にも取り組む。	日本語読み書き学級実施回数	回	31	20	29
		日本語読み書き学級受講者数（延べ人数）	人	402	259	281
		公民館長等研修会	回	1	0	1
7	小学校区公民館維持補修事業  小学校区単位での住民等の主体的な学習活動を支援し、生活の向上と文化の振興に寄与するため、学習機会、情報の提供を行う。そのため公民館施設の利用者が安全で快適な施設利用ができるよう、また、施設の長寿命化を図るため、維持補修に努める。	修繕件数（費用発生したもののみ）	件	157	118	108
8	小学校区公民館管理運営事業  主に、小学校区単位での住民の主体的な学習活動を支援し、生活の向上と文化の振興に寄与するため、各公民館の施設管理・運営を行う。	開館日数	日	283	253	243
		施設使用件数	件	19,671	10,889	13,059
		施設使用人数	人	263,288	105,040	127,517
9	放課後子ども教室推進事業  放課後等に子どもたちの安全で健やかな居場所を確保するため、地域住民の参画を得て、子どもたちと諸活動に取組み、地域社会全体で地域の子どもたちを見守り育むことができるよう、啓発と活動の充実を図る。	実施校数	校	32	-	18
		実施日数	日	2,562	-	200
		放課後子ども教室への児童登録率	%	62.6	-	36.6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月から約2か月半の期間ではあるが、地域の実情に応じ、感染対策を講じて活動を再開した。</li> <li>・市内の大学等において、放課後子ども教室概要説明及び大学生ボランティアスタッフ募集等を行った。</li> <li>・研究会2回（10月・2月）/代表者連絡会2回（11月・2月）/研修会1回（2月）</li> </ul>				
10	青少年健全育成事業  青少年健全育成運動を推進し、より一層の青少年育成を図るために青少年問題協議会が青少年育成の方針を樹立し、関係機関・団体と有機的に連携をとりながら、青少年育成のための諸事業の実施及び問題行動の防止等に努める。	青少年健全育成事業補助金交付団体数	団体	85	52	51
		青少年のためのイベント参加者数	人	1,364	-	355
		青少年のためのイベント学生運営スタッフ数	人	202	-	91
		青少年健全育成行事の好事例を評価し表彰する「ほっとけん！アワード」を実施した。				

教育総務部  
社会教育振興課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
11	上中条青少年センター運営事業  青少年及び青少年団体の健全な育成を図るため、体験活動や文化的交流事業を実施するとともに、自主的・組織的な青少年活動を支援する。	利用者数	人	49,178	26,701	29,643
		貸室稼働率	%	61.8	51.8	56.3
		子どもセミナー等主催事業 38回（随時）				
12	青少年野外活動センター運営事業  青少年の健全育成のために、自然体験や集団生活の機会を提供するとともに、青少年が自然に親しみ、仲間作りやボランティア活動等を楽しみながら体験することで、より豊かな人間性を身に付けるための学習機会を提供する。	年間利用人数	人	10,240	2,615	4,859
		稼働率	%	57.9	42	54.5
		主催事業延参加者数	人	2,879	770	523
		主催事業数	事業	11	3	6
13	青少年活動・育成事業  こども会をはじめとした青少年団体等や、これらの青少年を育成する組織が活発な活動を展開するための情報や活動機会の提供に努め、青少年教育活動の推進を図る。	こども会結成数	こども会	209	189	172
		こども会親善スポーツ中央大会参加児童	人	406	-	229
		こども会親善百人一首カルタ競技大会参加児童	人	220	-	-
		こども会加入率	%	34.4	30.8	26.4
		こども会サポーター登録者数	人	42	38	41
		キャンプカウンセラーによる「こども会レクリエーションのつどい」を実施した。				
14	公民館エレベーター等設置事業  高齢者や身障者等全ての利用者にとって、より利用しやすい施設とするため、エレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。また、施設の長寿命化や全ての利用者にとって快適で利用しやすい施設とするため、大規模改修等を実施する。	エレベーター既設置公民館数	館	8	8	9
		公民館大規模工事数（EV等）	数	1	2	2
15	中央公民館車両購入事業  中央公民館で使用している車両の老朽化に伴い新規車両を購入する。	車両購入台数	台	-	-	1
		中央公民館用車両の購入				

教育総務部  
歴史文化財課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	文化財保護事業  指定文化財をはじめ市内に残された文化財に対し、その保存と活用のために必要な措置を講ずることにより、郷土の歴史の正しい理解と郷土愛の醸成を図り、市民文化の向上に貢献する。	「テーマ展」入館者数	人	2,863	-	4,151
		「郷土史教室」延べ受講者数	人	394	-	319
		「古文書教室」延べ受講者数	人	156	40	66
		コロナ禍による対面形式の制限を踏まえ、Web会議システムを併用した講座等による啓発活動に取り組んだ。				
2	郡山宿本陣運営事業  国史跡である郡山宿本陣（樅の本陣）の公開事業を通じ、歴史や文化財に対する市民の理解と関心を深め、市民文化の向上に貢献する。	一般公開時見学者数	人	-	-	-
		特別公開時見学者数	人	-	-	-
		コロナ禍により公開は中止としたが、本陣の維持管理は実施した。				
3	文化財資料館とキリシタン遺物史料館運営事業  文化財資料館とキリシタン遺物史料館の適切な運営を図るため、施設の維持・補修を行うなど、文化財の保存、啓発に向けた基盤を確立する。	施設修繕費	千円	-	2,697	5,316
		施設維持管理費	千円	-	3,937	3,392
		新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、施設の維持管理を実施した。				
4	文化財発掘調査事業  文化財保護法の定めにより、市内に存在する埋蔵文化財の発掘調査を開発行為等に先立って行う。また、埋蔵文化財の保存と活用を図り、郷土愛の醸成、市民文化の向上に貢献する。	発掘調査件数	件	-	168	176
		出土遺物整理事業費	千円	-	19,580	14,850
		史跡等維持管理費	千円	-	2,787	4,009
		発掘調査や遺物整理の成果を市役所南館6階エレベーターホール前で速報的に展示した。				
5	千提寺菱ヶ谷遺跡整備活用事業  本市の貴重なキリシタン関連遺跡である同遺跡の市史跡指定を見据えながら、豊かな自然及び地域との共生を目指した持続的な整備と活用を図る。	遺跡整備事業費	千円	-	4,560	4,928
		遺跡維持管理費	千円	-	220	334

教育総務部  
歴史文化財課

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	文化財資料館リニューアル事業	文化財資料館入館者数	人	-	-	7,784
	昭和59年の開館当初のままの老朽化した常設展示室をリニューアルし、発信機能を強化することで、広く市民に郷土の歴史や魅力を再発見してもらい、郷土愛の醸成を図る。					
		常設展示室の一部改修により展示空間を再構築し、テーマ展と企画展を同時開催した。教育委員会が所管する膨大な古文書・古地図といった歴史情報を整理し、その公開を行う拠点として、文化財資料館内に郷土史料室を開室した。				

教育総務部  
中央図書館

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
1	資料情報収集提供事業  市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に、図書、視聴覚資料、データベース等記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に提供する。また読書案内やレファレンス・サービス（調べもの支援）などで、利用者に必要な資料を結びつける。	資料貸出点数	点	3,526,464	3,063,456	3,236,933
		蔵書冊数	冊	1,245,851	1,258,319	1,263,106
		<ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍のコンテンツ数を増やし、非来館型サービスの拡充に努めた。</li> <li>特定のテーマに関する資料や検索方法を紹介する冊子パスファインダーを作成し、利用者の利便性を図った。</li> </ul>				
2	図書館利用促進事業  より多くの市民に利用してもらい、利用者の教養、レクリエーション等に資することを目的に、市民との協働によりさまざまな行事や取り組みを行うとともに、市民の利便性の向上のため、サービス拠点の充実など、図書館サービス網の整備を行う。	利用促進行事参加人数（ロビー展示を除く）	人	5,788	209	796
		駅返却ポスト（2か所）への返却冊数	冊	164,372	131,290	143,478
		広域利用貸出冊数（茨木市民の他市利用）	冊	25,347	17,883	20,015
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども向け工作行事等の実施、穂積図書館開館20周年事業の実施等により、図書館の利用促進および図書館PRに努めた。</li> <li>中条図書館の移転に向けて、新施設おにクルの企画展を中条図書館および中央図書館で行った。</li> </ul>				
3	読書推進事業  市域全体で乳幼児から高齢者まで、物語や読書を楽しむことができるよう、学校や関係施設、関係課と連携し、環境を整備・機会の提供を行い、読書活動を推進する。	読書推進行事参加人数（おはなし会を除く）	人	2,441	240	3,778
		おはなし会参加人数	人	16,705	1,992	2,519
		学校・幼稚園・保育所等への団体貸出冊数	冊	3,024	1,957	1,910
		小学生図書館見学・中学生職場体験学校数	校	41	1	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大による図書館利用制限中は各館で年齢別の子どもの本をセットにした「お楽しみ袋」の貸出を行った。</li> <li>中高生の同年代による推薦本のリスト作成・配布や10代向けの本のコーナーを各館に設置した。</li> <li>障害者サービスの充実に向け、点訳ボランティアの入門講習会を開催した。</li> </ul>				
4	図書館ICT事業  ICTタグの導入による資料管理の効率化やホームページの充実、Wi-Fi環境の整備などを行い、市民の利便性の向上を図るとともに、情報・資料へのアクセスを容易にする環境づくりを行う。	インターネットからの予約点数	点	603,314	650,411	732,026
		ホームページアクセス件数	件	922,749	961,992	1,086,838
		インターネット端末利用件数	件	5,467	2,276	2,496
		<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館ホームページで新施設「おにクル」を紹介するとともに、SNS等で図書館行事の情報発信頻度を増やすなど情報提供に努めた。</li> <li>ホームページからの申請手続きを可能にし、非来館型サービスを充実させた。</li> </ul>				
5	図書館営繕事業  利用者の安全性の確保及び施設の長寿命化を図る。老朽化している図書館の改修を行い、利用者が安心して利用できる施設の維持を行う。	中央図書館設計・工事件数	件	0	1	2
		中央図書館、分館の営繕について、年次計画を作成した。				

教育総務部  
中央図書館

No.	事務事業名／目的及び概要	活動実績・事業の成果				
		指標	単位	R1年度	R2年度	R3年度
6	富士正晴記念館事業  寄託を受けた郷土の作家である富士正晴氏に関する資料の収集・整理・保存を行い、資料整理報告書の刊行や、整理資料の公開、講演会（年1回）を実施する。	記念館来館者数	人	4,066	2,691	3,093
		講演会参加人数	人	53	-	37
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展を2回行った。</li> <li>・講演会を開催し、富士正晴の魅力発信に努めた。</li> </ul>				
7	図書館施設維持事業  利用者の安全性の確保及び施設の長寿命化を図る。 老朽化している図書館の改修を行い、利用者が安心して利用できる施設の維持を行う。	各種修繕件数	件	56	46	56
		中央図書館・分館・分室の設備等を必要に応じ修繕・点検を行い、利用者が安心して施設を利用できるように努めた。				